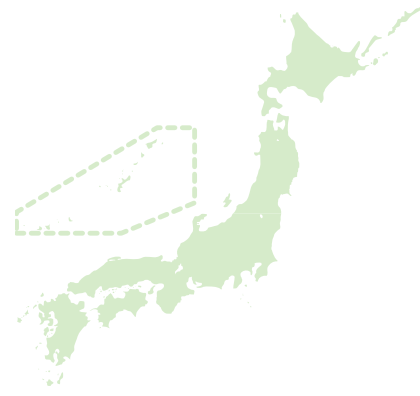


平成28年度

「言語聴覚の日」イベント報告



長崎県

去る10月2日、長崎県言語聴覚士協会では佐世保市四ヶ町アーケードにて、言語聴覚士の職域・活動を多くの方々に周知してもらうべく、リーフレット及びポケットティッシュの配布や“ことば”や“飲み込み”に関する相談ブースを設けて啓蒙活動を行いました。

当日は日曜日ということもあり、家族連れや国内外からの観光客も多く、子供からご年配の方まで幅広い年齢層の方で賑わい、沢山の方からお声掛け頂きました。相談としては、聴力の衰えや認知症、成人ダウン症の方の構音、若年性高次脳機能障害の方の相談といった内容でした。中でも認知症ブースでは、MoCA-Jを用いた簡易評価と説明を行い、アドバイスを受けられた方は皆結果に一喜一憂されていました。

今回の活動では、現在抱えている悩みの相談だけでなく、『言語聴覚士』が登場する映画やドラマが増えたためか、「最近、言語聴覚士ってよく耳にするのですが…」と声をかけてくださった学生さんもいて、少しずつではありますが興味関心を持ってくださる方が増えてきていることを肌で感じました。

とはいえ、まだまだ一般に馴染みのある職業として認知されていないのも事実です。地域包括ケアシステムの構築に伴い、今後は更に地域住民の方と関わる機会が多くなることも予想されます。

このような活動が世間の認知度向上や地域における言語聴覚士の役割において少しでもプラスになることを願い、協会全体で積極的に取り組んでいきたいと思っております。

柴田長庚堂病院 野上満恵